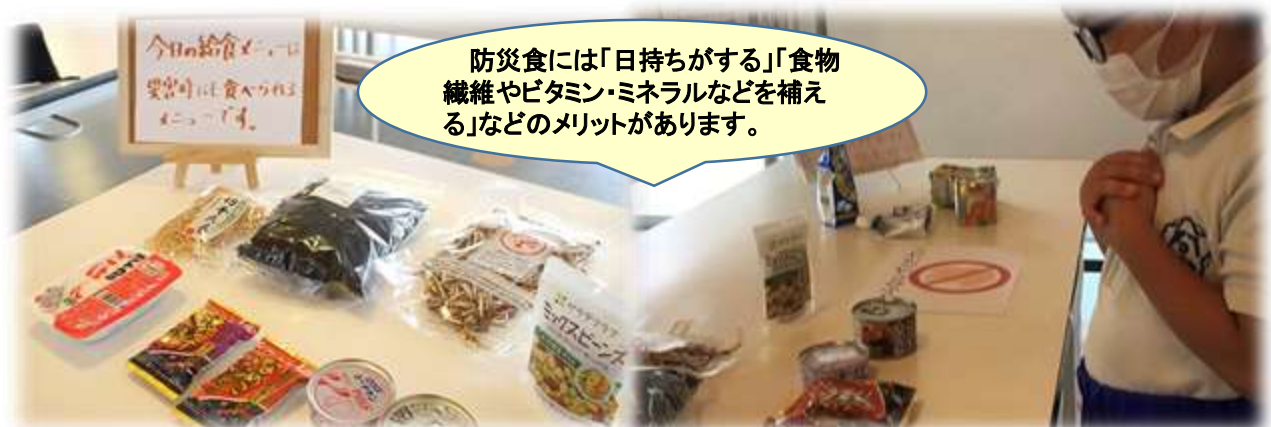


「まさか！」のための防災給食



子どもたちは、見本として展示された食材に関心を示し、あれこれと防災食メニューの組み合わせを考えていました。

防災の日に合わせて缶詰や乾物を食材とした「防災給食」を実施し、災害でライフラインが寸断されるといった「まさか！」の事態への心の備えを確認しました。



防災食には「日持ちがする」「食物繊維やビタミン・ミネラルなどを補える」などのメリットがあります。



「味噌汁の大根の食感が違う！」「家にあるか確かめよう！」

子どもたちは「食べ物があるだけで、パニックは避けられる！」例え電気、ガス、水道が止まったとしても防災食があれば心が安らぐということを学んだようです。